













郡っ子まなび通信

No.1

先日実施した、郡中学校の家庭学習に関するアンケートの結果から、郡中学校生徒の平日の家庭学習時間は平均60分、家庭学習に関する取組に満足していない生徒が9割ということが分かりました。そこで!みなさんの家庭学習をサポートするために「郡っ子まなび通信」の発行をはじめます!

まずは...家庭学習に関する悩み No.1 の「上手な勉強方法がわからない」を解決するために...郡中学校の先生が「ぜひ!これだけは実践してほしい!」という各教科の勉強方法を紹介します!

	<p>①漢字の学習 漢字小テストに向けての漢字練習 ②語句の意味調べ(辞書やタブレット使用) ③教科書の音読 ④文法・ワークの学習(eライブラリの活用)</p>	
	<p>①その日に学習した内容を見直す(特に公式や重要語句・性質の意味は確実に理解する) ②授業で間違えた(解けなかった)問題を解き直す ③ワーク→授業で学習した内容のページを補充学習として行う ④過去のテストで、間違えた問題を解き直す→苦手なパターンの問題の克服に努める ⑤その単元で学んだ要点をまとめ、学習内容を整理する</p>	
	<p>①教科書→重要語句に下線を引きながら読む。書いて覚える。歴史の学習の際は、時系列で覚える ②ノート・ワークシート→見直す ③ワーク→正解するまで繰り返し解く(漢字で正確に書く) ④小テスト→覚えるまで何度も解き直す ⑤eライブラリ・配布プリント→より多くの問題を解き、基礎力・応用力をつける</p>	
	<p>①授業→常に疑問を持って取り組む ②教科書→授業後に毎回復習する ③ワーク→各章終了後に取り組み、基礎の定着を確認する ④練習問題→eライブラリ等で多くの問題を解き、応用力をつける</p>	
	<p>①単語→ノートに練習する(例:発音しながら/自分でテスト/単語カード) ②音読→正しい発音を確認しながら練習する(できればQRコードを使って正しい発音を確認) ③解き直し(反復)→ワークで間違えた問題(例:ノートにくり返し書く/eライブラリで復習)</p>	



実りのある家庭学習を!~自分流の学び方を見つけ、家庭学習を充実したものに~
勉強には2つ種類がある?! インput とアウトput

インput...頭の中の引き出しに知識を入れる(暗記する・理解する・本を読むなど...)
アウトput...頭の中に入れた知識を取り出す(問題を解く・話すなど...)

インput×アウトputの組み合わせが大切です!

インputだけだと...“覚えつつもり”→自分の力で思い出せるかアウトputで確認をしよう!
アウトputだけだと...“知識不足のまま”→まずはインputで知識を入れよう!



「今日の家庭学習なにしよう...何をしたらいいの?分からない」と思ったら ㊦【計画】㊧【テスト】㊨【分析】㊩【練習】

計画→自分に必要なものを考え、その日にやることを決めよう!「苦手なこと」「理解できていないこと」「暗記できていないこと」ないかな~

テスト→自分の頭の中の引き出しにある知識を取り出して、しっかり使えるかな?「テストをしよう!」「丸付けやり直しまで!」

分析→「何で間違えたの?」「良かったところは?」「これからどうしたらいい?」理解できていることできていないことを自分で分析!

練習→分析をふまえ、必要な練習に取り組む!方法は十人十色!自分にあった方法を見つけよう!